

【基本的な共通記載事項】

上下 阿智PA(Eランク)

改訂日

2021.5.17

環境整備作業作業手順書

準備工

作業開始

作業

後片付け

	内 容	留 意 事 項
作業準備	作業打合わせ(KY活動) 作業人員の確認 服装・保護具等の確認 作業環境及び体調の確認 使用器具の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクアセスメントによる危険予知訓練の実施。 ・作業分担・配置の確認。 ・感染症予防対策(マスク着用・手洗い等)の実施。 ・気温、WBGT、体温、体調を確認・記録 ・使用器具の破損の有無の確認
ゴミ回収・ゴミ分別作業	ごみ箱(トイレ内のゴミ籠を含む)のごみの回収を行い分別所まで運搬する。 ゴミ回収はゴミ箱が満杯にならないよう毎日数回行う。 ・回収ごみを分別する。	<ul style="list-style-type: none"> ・耐切創手袋を着用する。 ・一輪車又はリヤカーを使用して運搬する。 ・周囲を確認しお客様の支障とならないよう注意する。 ・ガラス破片等の鋭利な物、医療用廃棄物等の混入に十分注意する。 ・分別方法は別紙による。
お手洗清掃(巡回清掃)	2回以上/1日(ハイシーズンは4回以上/1日) 男女トイレ、多目的トイレの状況を確認し汚れがある場合は必要な作業を実施する。 ・汚れがある場合の清掃は(基本清掃)に準じて行う。 ・トイレトーパーの残量を確認し適宜補充する。	<ul style="list-style-type: none"> ・下記の(基本清掃)と同様に作業中看板を掲出する。
お手洗清掃(基本清掃)	男女トイレ、多目的トイレ内の床面、壁面、扉、便器、洗面台その他付属設備等、 トイレ内を全体的に清掃を行う(毎日1回)。 ・清掃箇所を衝立等で仕切る。 ・清掃箇所に噴霧器または霧吹きを使用して電解質水を散布する。 ・床面は目地ブラシ等で汚れを落とし、モップで拭き上げる。適宜床面洗浄機を使用し清掃を行う(必要に応じて水切りを使用する)。 ・便器は目地ブラシ、スポンジ、柄付きブラシ等を使用して細部まで清掃する。 ・手鏡を使用しリム裏等見えない箇所の汚れを確認する。 ・汚れのひどい箇所はトイレクリーンA等を使用して清掃する。 ・洗面台を専用スポンジ、メラミンスポンジ等で清掃する。 ・便器は白タオル、洗面台は赤タオル、壁面は黄タオルで拭き仕上げる。 ・オストメイト洗浄台の清掃を行う。 ・ベビーベッドの清掃を行う。埃は埃取りモップで拭取り、赤タオルで仕上げる。 ・エアタオルの清掃を行う。吸気口フィルターの埃を除去する。 ・床排水溝・排水口の水洗い清掃を行う。排水口にきれいな水を溜めておく。 ・容器内の残量を確認し適宜補充する。 ・貯蓄タンクの残量を確認し適宜補充する。 ・トイレトーパーの残量確認、補充を行う。 ・便座除菌クリーナーの補充 ・手洗い石けんの補充 ・トイレトーパーの補充 ・尿石防止剤の補充 ・切り花等の飾り付け、管理	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ内の混雑を確認。お客様が多い場合は作業を中断して待つ。 ・清掃中の立て看板を掲出する。男子トイレは「女性清掃員が清掃しています」の看板を掲出する。男性は原則として女子トイレには入らない。 ・やむを得ず男性が女子トイレに入る場合は「男性清掃員清掃中」の看板を必ず掲出し、お声がけをしてから入る(緊急時等も同様)。 ・散水ホースを使用する場合はホースやノズルが抜けないように注意する。 ・トイレクリーンAを使用する場合は手袋、保護メガネを装着する。 ・冬期間の凍結するおそれのある場合は水の使用を控えてモップ拭きでの作業を行う ・スポンジ、ブラシ、タオル等は清掃箇所毎に区別しておく。 ・大便器ノズル洗浄ボタンを使用する時はノズルの上部をタオルを使用して保護をする。 ・周囲を確認しお客様の支障とならないよう注意する。電解質水、洗剤、水などが飛散しないよう注意する。 ・散水ホース、ブラシ等使用し水洗いする。 ・ケースが破損していないか確認する。 ・製造方法は別紙による ・ペーパーを水で濡らさないように注意する。 ・ペーパー扱い時は、乾いた綿手袋を着用する(ゴム手袋は使用しない)。
域内清掃A(駐車場、路面) 域内清掃B(園地) 域内清掃C(歩道部)	駐車場内・路面のゴミを拾う(毎日1回以上・プラットパークを含む)。 植栽園地のゴミを拾う(1回/28日)。 歩道部のゴミを拾う(毎日3回以上)。	<ul style="list-style-type: none"> ・こまめに水換えをする(冬期間は凍結に注意)。枯損花木は廃棄する。 ・ヘルメット、安全チョッキを着用(夏季は空調ベストを適宜着用)する。 ・駐車場は出口側から入り口側に向かって作業する。 ・大型車両の間には入らない。車両下部のゴミは拾わない。 ・火挟み、ちりとり、万年箒、ビニール袋を使用する(手で直接拾わない)。
	終礼の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクアセスメントによる危険予知訓練による。

注意事項

異常事態等発生したら直ちに連絡系統に従って連絡を入れ、指示に従う。

安全器具・保護具の確認

ヘルメット・安全チョッキ・手袋・保護メガネ・熱中症対策用品